

ケアと暴力と悲嘆

講師

島 蘭 進 さん

(上智大学大学院実践宗教学研究科教授・同グリーンケア研究所所長)

略歴 1948年東京生まれ。1977年東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。東京大学文学部宗教学宗教史学科教授、同大学院人文社会系研究科教授を経て、現職に至る。

主な著書

『現代救済宗教論』(青弓社、1992)、『<癒す知>の系譜—科学と宗教の狭間』(吉川弘文館)、『スピリチュアリティの興隆 新霊性文化とその周辺』(2007)、『国家神道と日本人』(2010)、『日本仏教の社会倫理』(2013)(以上、岩波書店)、『宗教学の名著30』(2008、筑摩書店)、『日本人の死生観を読む』(2012、朝日新聞出版)、『現代宗教とスピリチュアリティ』(2012、弘文堂)など、著書多数。

日本の文芸から

暴力の避けがたさの自覚と悲嘆は、古くから宗教や文芸が語ってきたことではないだろうか。宗教も文芸も避けがたい暴力と悲嘆へのケアの装置としての側面を持っている。現代ではそれは誰もが取り組める可能性を持つ実践として、学び育てる事柄に転じている。そのような歴史的な流れを意識しながら、日本の文芸における暴力の自覚と悲嘆の表現について見ていきたい。悲嘆に自覚的に取り組むことは赦しや和解につながるものであり、人権や公共哲学に関わるテーマであることを述べていきたい。

日時

9月24日(日)

14:00~16:30

(13:30 開場)

場所

上智大学 中央図書館 8F 821 会議室 (定員 100名)



〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1
(JR中央線・東京メトロ丸の内線
南北線四ツ谷駅麴町口・赤坂口から 徒歩7分)

http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/accessguide/access_yotsuya

申込方法

図書館なので事前の申し込みが必要です。

氏名、〒、住所、携帯番号、メールアドレスを記入し、次の方法でお申込みください。

- 申込みフォーム <https://goo.gl/forms/b9aa7Xkf7K3TQyM43>
- Faxによる申込み 050-3737-2636 後藤哲男 宛て

参加費

1,000 円

(学生 / 障害・生保のある人 500円)

終了後、懇親会を予定しています。
(各自が飲食した分をお支払いいただきます。)

【共 催】上智大学哲学科

主催・問合せ

ベグライテン 090-9146-6667 (関根)

Begleiten
ベグライテン

f <https://www.facebook.com/begleiten2>
HP <http://begleiten.org/>

ミシュカの森 ANA71805@nifty.com(入江)

ミシュカの森

f <https://www.facebook.com/mforest>